APIR 一般財団法人 アジア太平洋研究所
ASIA PACIFIC INSTITUTE OF RESEARCH

Kansai Economic Insight Monthly

2015/7/17

Vol.27 June/July

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第 3 週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要　旨

- ✓ 5月の鉱工業生産指数は2カ月連続で前月から低下。今後の力強い生産の増加は期待しにくい。
- ✓ 5月の貿易は、輸出は27カ月連続で前年比増加。輸入は3カ月連続で減少。結果、貿易収支は3カ月連続の黒字となった。
- ✓ 6月の消費者態度指数、景気ウォッチャー現状判断DIはともに改善。インバウンド関連の需要が継続することなどから先行き判断も上昇している。
- ✓ 3月の関西2府4県の現金給与総額の伸びは前月から横ばいとなり、12カ月続いた伸びが止まった。4月の関西コア賃金指数はマイナスに転じており、先行きは見極めづらい。
- ✓ 5月の大型小売店の販売額は2カ月連続の前年比プラス。前年の消費増税に伴う需要の反動減による影響が見られる。
- ✓ 5月新設住宅着工戸数は前年比+3.2%増加し、9カ月ぶりのプラス。持ち家、貸家はマイナスも分譲はプラスとなった。
- ✓ 5月の有効求人倍率は2カ月連続の上昇。新規求人倍率は低下したものの、インバウンド関連業種は引き続き堅調。失業率は2カ月連続で悪化したが、景気の好転による職探しの動きを反映したものと考えられる。
- ✓ 6月の公共工事請負金額は前年比+6.4%と2カ月ぶりの増加。季節調整値で見れば、前月から大幅プラス。
- ✓ 5月の建設工事は前年比+3.8%と3カ月連続の増加。足下、建設工事の伸びは微増となった。
- ✓ 2015年4-6月期の中国実質GDP成長率は前年同期比+7.0%と、前期比横ばいとなった。しかし、リコノミクス指数は減速傾向を示していることから中国経済の実態については楽観を許さない。

【関西経済のトレンド】

	2014年							2015年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産	↘	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↗	↘	↘	
貿易	↘	↗	→	→	↗	→	↗	↗	↘	↗	↗	↗	
センチメント	↗	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	↗	→	↘	↗
消費	→	→	↗	↗	↗	↗	↗	→	↗	↘	↗	↗	
住宅	→	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	↗	
雇用	→	→	→	→	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	
公共工事	→	→	→	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↗
中国	↗	↗	↘	↗	→	↘	↘	↘	→	↘	↘	→	→

【鉱工業生産動向】

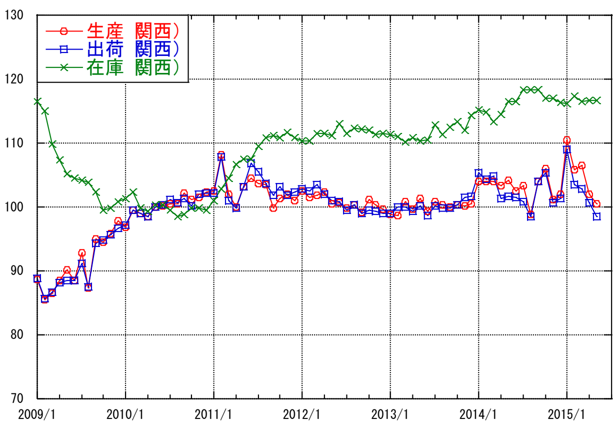
（1）関西の生産動向

5 月の鉱工業指数(速報値：季節調整済)を見ると、生産は 100.6 で前月比-1.5%と２カ月連続の下落、出荷は 98.5 で同-2.2%と 4 カ月連続の下落。在庫は 116.7 で同 0.0%と前月比横ばいとなった。

業種別に生産指数をみると、金属製品(同-15.2%)、はん用・生産用・業務用機械(同-3.6%、2 カ月連続の減産)、化学(除．医薬品)(同-3.5%)等が減産となった。一方、電気機械(同+10.6%、 4 カ月ぶりの増産)、情報通信機械(同+11.4%、2カ月連続の増産)、窯業・土石製品(同+4.1%、２カ月連続の増産)等が上昇した。

前月に輸出の伸びから予測したように、5 月の生産は減少となった。今後の生産動向に力強い伸びは期待しにくい。

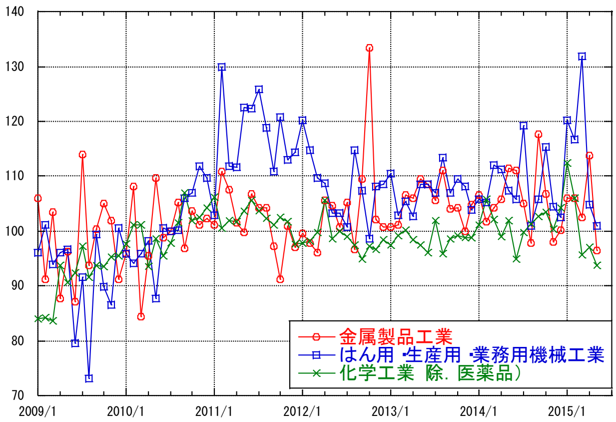
鉱工業指数の推移(関西：2015 年 5 月まで、平成 22 年=100)



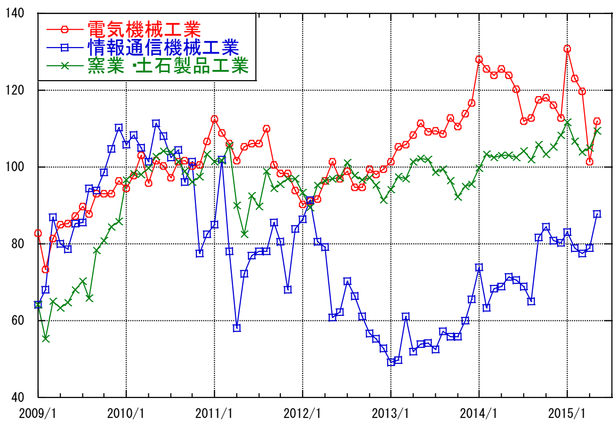
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2015年5月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移（続き）



（注）福井県を含む。

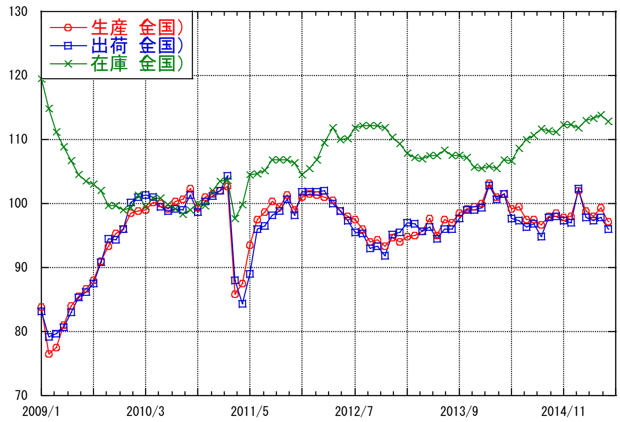
（出所）近畿経済産業局「近畿経済の動向」

（2）全国の生産動向

全国における5月の鉱工業生産指数(確報値、季節調節済)は97.2となり前月比-2.1%、出荷は96.0で同-1.9%といずれも2カ月ぶりの下落。在庫は112.9で同-0.8%と4カ月ぶりの下落となった。なお、製造工業生産予測調査で6月は増産(同+1.5%)、7月も増産(同+0.6%)となっている。

業種別にみると、輸送機械(同-5.1%)、化学(同-4.4%)、電子部品・デバイス(同-4.8%)等を中心に減産となった。一方、食料品・たばこ(同+4.8%)、情報通信機械(同+2.0%)、鉄鋼(同+0.4%)等は増産となった。

鉱工業指数の推移（全国：2015年5月まで、平成22年=100)



（出所）経済産業省「鉱工業指数」

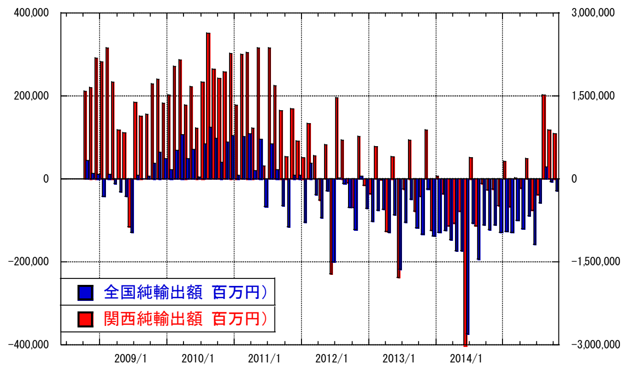
【貿易動向】

（1）純輸出

貿易概況(速報値)によれば、5月関西の貿易収支は+1,091億円と3カ月連続の黒字となった。前年同月から1,364億円改善した。全国の貿易収支(速報値)は-2,172億円と2カ月連続の赤字となったものの、赤字幅は前年同月から-76.3%縮小した。

関西純輸出(左軸：100万円)・全国純輸出(右軸：100万円)推移

(2015年5月まで)



（出所）大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

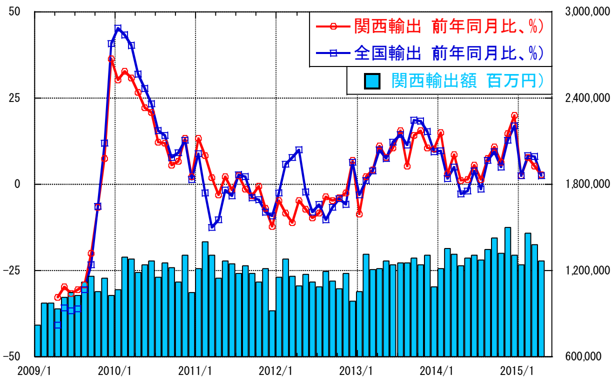
（2）輸出

関西５月の輸出額(速報値)は１兆2,642 億円。前年同月比+2.7%と27 カ月連続の増加。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品(単月過去最高額)、通信機であった。一方、鉄鋼、科学光学機器は減少となった。

全国５月の輸出額(確報値)は５兆 7,403 億円となり、前年同月比+2.4%と９カ月連続の増加。財別に見れば、半導体等電子部品、船舶、及びポンプ・遠心分離機等の輸出が増加した。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は119.49 円と前年同月比-17.0%の円安であった。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2015 年５月まで)



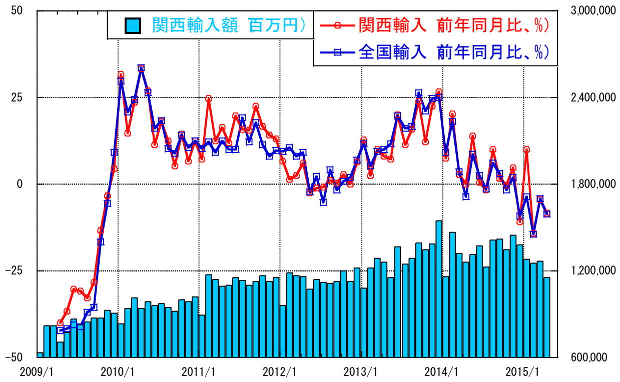
（出所）大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

（3）輸入

関西５月の輸入額(速報値)は１兆 1,551 億円、伸びは前年同月比-8.2%と３カ月連続の減少。財別に見れば、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス等が減少した。通信機(単月過去最高額)、半導体等製造装置(過去最高額)等は増加した。

全国５月の輸入額(速報値)は５兆 9,575 億円、前年同月比-8.7%と５カ月連続の減少。財別に見れば、原粗油、液化天然ガス、鉄鉱石等の輸入が減少した。

輸入(右、100 万円)・前年同月比(左、%)推移(2015 年５月まで)



（出所）財務省「財務省貿易統計」

（4）関西の地域別貿易

関西５月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,882 億円となり、16 カ月連続の黒字であった。黒字幅は前年同月比+36.1%拡大した。輸出は９カ月連続で増加(同+1.7%)。財別に見れば、半導体等電子部品、通信機等が増加した。輸入は２カ月ぶりのマイナス(同-5.0%)。財別に見ると、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油等が減少した。

うち、対中貿易収支は-738 億円と 39 カ月連続の赤字。赤字幅は３カ月連続で前年同月から縮小した(前年比-0.4%)。輸出は３カ月連続の増加(同+1.1%)も、伸びは小幅。一方、輸入は３カ月ぶりの増加(同+0.8%)となった。

対米貿易収支は+566 億円と黒字基調が続いており、黒字幅は９カ月連続で前年から拡大した(同+17.9%)。うち、輸出は 12 カ月連続の増加(同+12.5%)。財別に見れば、建設用・鉱山用機械、重電機器等が増加した。輸入は４カ月連続の増加(同+9.9%)であり、財別に見れば、医薬品、半導体等製造装置等が増加した。

対 EU 貿易収支は+15 億円と７カ月連続の黒字となり、前年同月から 78 億円改善した。うち、輸出は８カ月連続の増加(同+11.7%)。財別に見れば、船舶、有機化合物等が増加した。輸入は３カ月ぶりの増加(同+4.6%)。財別に見れば、半導体等製造装置、自動車等が増加した。

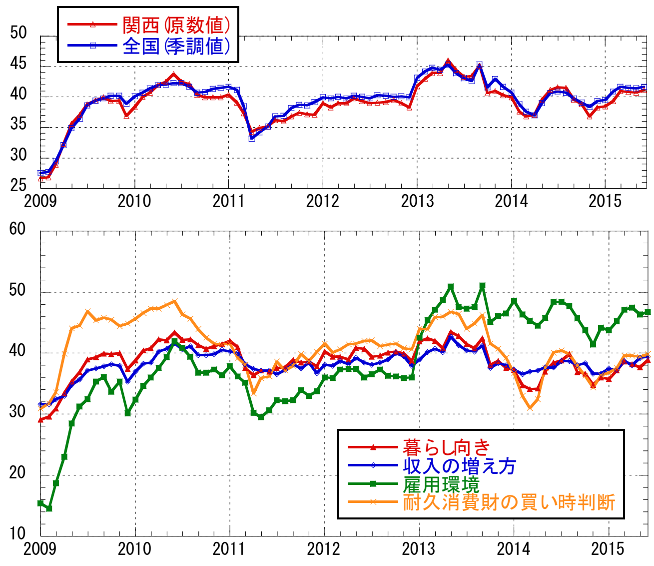
【消費者センチメント】

（1）消費者態度指数の動向

関西の 6 月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.5 ポイントの 41.2 と、3 カ月ぶりのプラス。全国(季節調整値)でも同+0.3 ポイントの 41.7 とこちらも 3 カ月ぶりのプラスとなった。改善が小幅であったことから、内閣府は消費者心理の基調判断を据え置いた。

関西で同指数の構成項目をみると、6 月は 4 つの意識指標が前月から全て上昇した。「暮らし向き」は同+1.2 ポイントで 3 カ月ぶりの上昇、「雇用環境」は同+0.5 ポイントと 2 カ月ぶりの上昇、「収入の増え方」は同+0.2 ポイントで 2 カ月連続の上昇、「耐久消費財の買い時判断」は同+0.4 ポイントと 2 カ月ぶりの上昇となった。

消費者態度指数(2015 年 6 月まで)



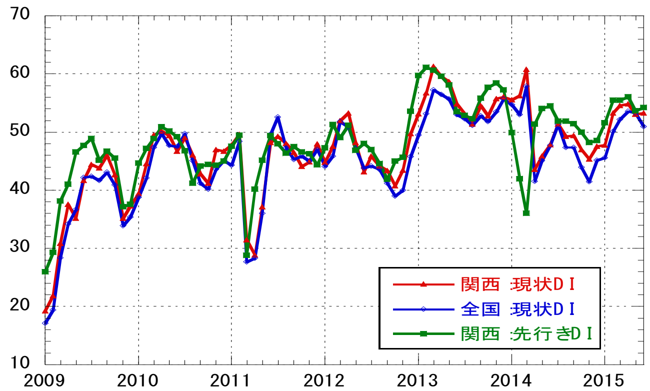
(出所）内閣府 「消費動向調査」

（2）景気ウォッチャー指数の動向

関西の 6 月の現状判断 DI は前月比+0.2 ポイント小幅上昇し 53.3 となり、2 カ月ぶりに上昇した。円安に伴うコストの上昇が続いている一方で、今夏のボーナス支給額が前年を上回ったこと、インバウンド関連の好調が続いたことが上昇に寄与した。一方、全国は同-2.3 ポイント下落し 51.0 となり 2 カ月連続の悪化。

先行き判断 DI は、関西では 54.2 と前月比+0.5 ポイント上昇。円安による物価上昇や原材料コスト増に対する不安はあるものの、インバウンド関連の需要の継続と今後自治体で販売が開始されるプレミアム商品券への期待が見通しを上昇させているとみられる。

景気ウォッチャー調査(2015 年 6 月まで)



(出所）内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

（1）現金給与総額

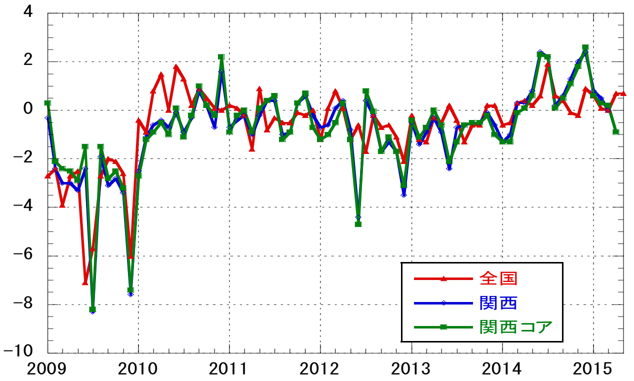
3 月の関西 2 府 4 県の現金給与総額(APIR 推計)は 27 万 1,332 円で前年同月比横ばいとなり、10 カ月続いた伸びが止まった。府県別では、大阪府が同+1.5%と最も伸びが大きかった。次いで和歌山県では同+1.3%、奈良県では同+0.5%上昇した。一方、京都府では同-0.1%と前月(同+2.2%)からマイナスに転じた。兵庫県では同-2.4%と 2 カ月連続のマイナス。滋賀県は同-3.6%と 16 カ月ぶりのマイナスとなった。

京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は 4 月に前年同月比-0.9%となり、12 カ月ぶりのマイナス。賃金の先行きは見極めづらい。

全国(確報値)の現金給与総額は、5 月は前月と同じ前年比+0.7%の伸びとなった。内訳をみると、所定内給与は同+0.2%と前月(同+0.4%)から若干減速。所定外給与は同-1.4%と前月(同-1.7%)からマイナス幅は幾分改善。特別給与は同+25.2%と前月(同+10.9%)から大幅に上昇した。

現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は速報時点では同-0.1%のマイナスだったが、確報では上方修正され同 0.0%と 2013 年４月以来、25 カ月ぶりにマイナスの伸びから脱した。

現金給与総額(前年同月比：%、2015 年５月まで)



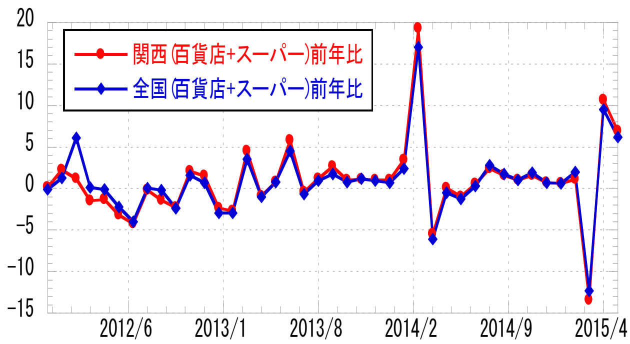
（注）関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)は APIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成 23 年平均)で加重平均。
（出所）厚生労働省 「毎月勤労統計調査」

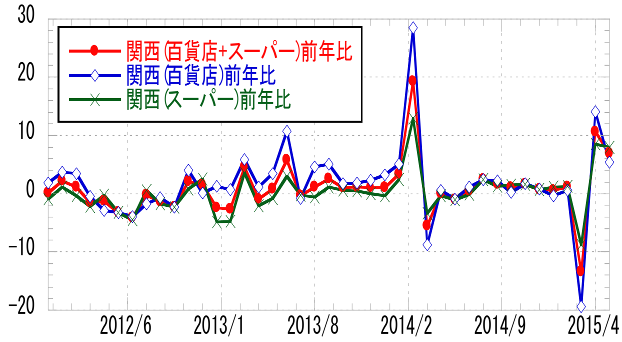
（2）大型小売店販売額

関西 5 月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+6.9%と２カ月連続のプラス。百貨店は同+5.4%と２カ月連続のプラス。スーパーは同+7.9%と２カ月連続のプラス。

全国 5 月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+6.2%と２カ月連続のプラスとなっている。昨年の消費増税の反動減による影響から、ここのところプラスが続いている。

大型小売店販売額(前年同月比：%、2015 年５月まで)





（注）福井県を含む。 （出所）経済産業省「商業動態統計」

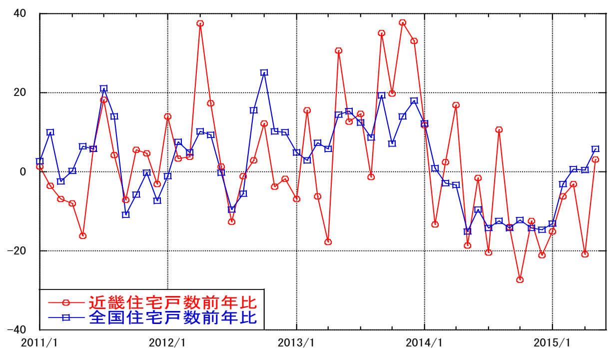
（3）新設住宅着工の動向

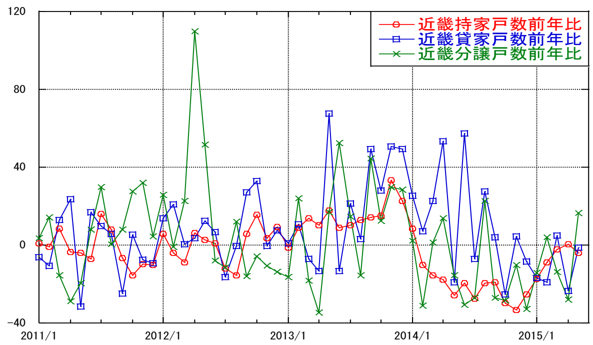
関西５月の新設住宅着工戸数は 10,416 戸。前年同月比+3.2%と９カ月ぶりの増加。全国は 71,720 戸と同+5.8%増加した。３カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は 2,452 戸、同-4.1 %と２カ月ぶりのマイナス。貸家は 3,812 戸、同-1.1%と２カ月連続の減少。分譲は 4,084 戸、同+16.3%と３カ月ぶりの増加となった。

６月の関西マンション契約率は 71.3%(季節調整値、APIR 推計)となった。好不調の目安となる 70%を４カ月連続で超えている。全国のマンション契約率は 75.4%(季節調整値、APIR 推計)となった。足下、関西の住宅着工は増加に転じており、全国ではプラスが続く結果となった。

新設住宅着工(前年同月比：%、2015 年５月まで)





(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

（1）求人倍率の動向

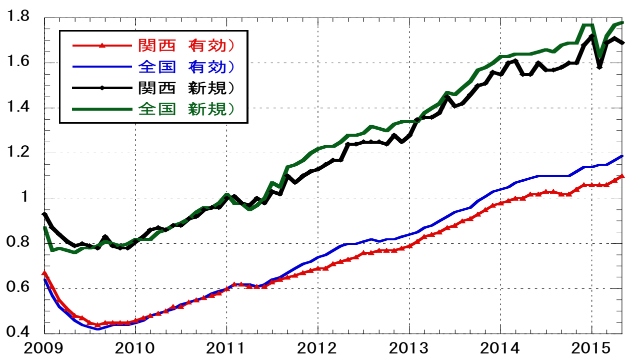
5 月の関西の有効求人倍率は、前月比+0.02 ポイント上昇し、1.10 倍となり、2 カ月連続の上昇。1.10 倍台は 2007 年 8 月以来。全国も同+0.02 ポイント上昇し、1.19 倍と 1992 年 3 月(1.19 倍)に並ぶ高水準。

府県別では全ての府県で有効求人倍率は上昇。大阪府で 2007 年 10 月(1.21 倍)以来の高水準となった。

5 月の関西の新規求人倍率は、1.69 倍と前月比-0.02 ポイント低下。一方全国は 1.78 倍と同+0.01 ポイント小幅上昇。

関西の産業別求人数は、建設業・製造業で減少したものの、宿泊・飲食サービス業や生活関連サービス、小売業といったインバウンド関連業種で増加した。

有効求人倍率の推移（季節調整値、2015 年 5 月まで）



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西 2 府 4 県有効求人倍率(2015 年 5 月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
5月	1.19	1.10	1.07	1.12	1.20	0.97	0.98	1.06
4月	1.17	1.08	1.02	1.10	1.17	0.96	0.93	1.02

（2）完全失業率の推移

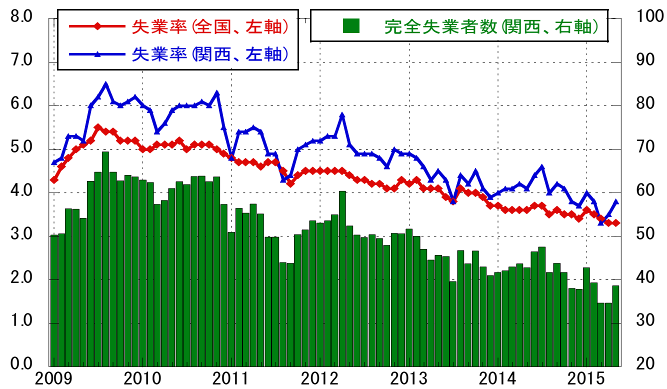
5 月の関西の完全失業率(季節調整値：APIR 推計)は 3.8%で前月(3.5%)から 0.3%ポイント上昇し、2 カ月連続の悪化。労働力人口が増加しており、景気の好転による職探しの動きを反映したものと考えられる。

関西の完全失業者数(季節調整値：APIR 推計)は 38.6 万人で前月(34.6 万人)から４万人増加した。

一方、全国の完全失業率(季節調整値)は 3.3%と前月から横ばい。中でも、女性の失業率は前月から-0.2%ポイント低下し、3.0%と 1995 年 2 月以来の低水準となった。景気回復に伴う人手不足で就業が進んだとみられる。

15～64 歳の就業率(原数値ベース)をみると、73.3%となり、前年同月比+0.3%ポイント上昇。昨年の後半から高水準が続いている。

完全失業率の推移（季節調整値：%、万人、2015 年 5 月まで）



(出所) 総務省「労働力調査」

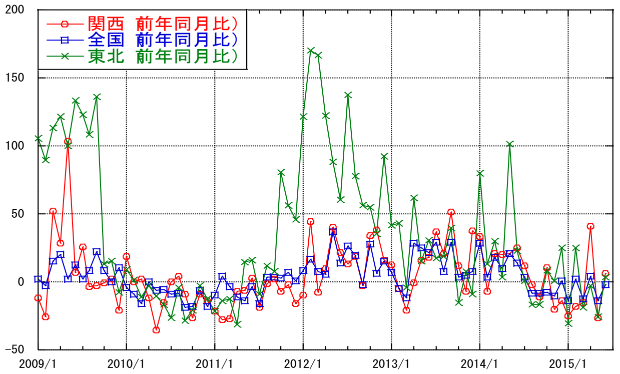
【公共投資】

（1）公共工事請負金額

関西 6 月の公共工事請負金額は 2,004 億円で前年同月比+6.4%と 2 カ月ぶりのプラスとなった。全国は 1 兆 5,564 億円で同-1.8%と 2 カ月連続のマイナス。東北は 2,829 億円で同+3.7%と４カ月ぶりのプラスとなった。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国共に 2 カ月ぶりに前月から増加となった(関西：同+47.1%、全国：同+1.8%)。

公共工事請負金額(前年同月比：%、2015 年 6 月まで)

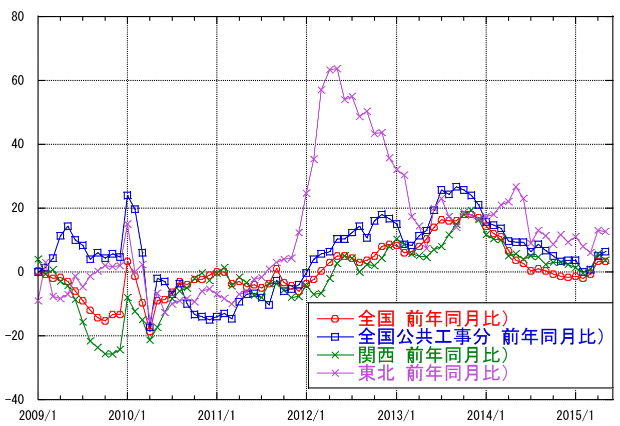


(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

（2）建設工事

関西 5 月の建設工事は 4,675 億円、前年同月比+3.8%と 3 カ月連続の増加となった。東北は 4,945 億円、同+12.6%と 46 カ月連続の増加。全国は 3 兆 5,494 億円となり、同+3.3%と 2 カ月連続の増加。うち、全国の公共工事は 1 兆 3,839 億円で同+6.4%と 40 カ月連続の増加も、伸びは 14 カ月連続で 1 桁にとどまった。足下、関西の建設工事は微増となった。

建設工事(前年同月比：%、2015 年 5 月まで)



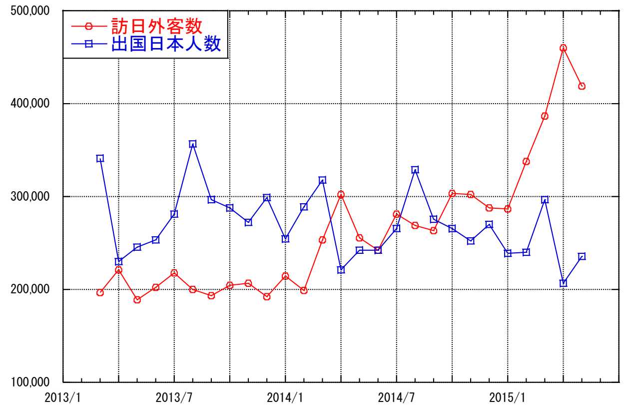
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

（1）訪日外客数トレンド

関空への訪日外客数の伸びは、前月の歴史的なレベルからは若干減少した。5 月の訪日外客数は 41 万 9,510 人、前年同月比+64.4%と 28 カ月連続の増加となった。一方、出国日本人数は 23 万 5,720 人(同-2.6%)と 17 カ月連続の減少となった。

訪日外客数と出国日本人数(2015 年 5 月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

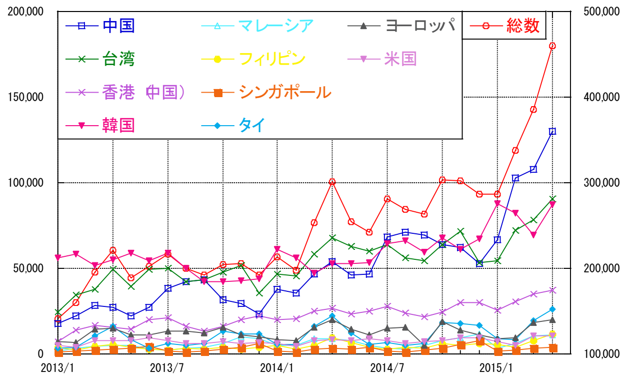
（2）地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、4 月は中国(香港を除く)からの入国者数が 130,111 人(前年同月比+140.9%)と最も多かった。次いで、台湾が 90,431 人(同+33.2%)、韓国が 87,117 人(同+64.1%)、中国(香港)が 37,155 人(同+39.5%)となった。中国(香港を除く)・台湾・香港からの訪日外客数は歴史的な水準を記録している。

他のアジア各国からの入国者数は、タイから 26,025 人(同+15.4%)。フィリピンからは 11,692 人(同+22.0%)、マレーシアからは 10,971 人(同+23.8%)、シンガポールからは 3,795 人(同+11.5%)となり、いずれも伸びはプラスが続いている。

他地域を見ると、ヨーロッパからは 20,264 人(同+0.9%)と 7 カ月連続のプラス、米国からは 10,830 人(同+25.2%)と 8 カ月連続のプラスであった。

地域別訪日外客数(2015 年４月まで：人、右軸：総数、左軸：各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

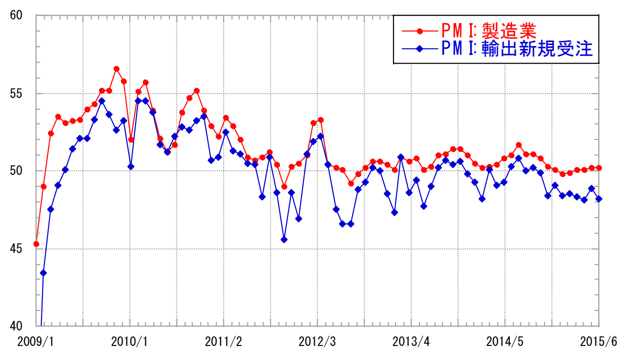
【中国景気モニター】

（1）センチメント

6 月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、4 カ月連続で 50 を上回ったものの、前月比横ばいの 50.2 にとどまった。

うち、生産指数も同横ばいの 52.9 となった。一方、新規受注指数は 50.1 となり同-0.5 ポイント低下。3 カ月ぶりのマイナス。また、輸出新規受注指数は 48.2 となり、同-0.7 ポイント下落した。2 カ月ぶりの悪化で 9 カ月連続で 50 を下回った。雇用指数は 48.1 となり、同-0.1 ポイント低下し、2 カ月ぶりの悪化となった。2012 年 6 月以来、37 カ月連続で 50 を下回っている。

中国製造業購買担当者景況指数(2015 年 6 月まで：%)



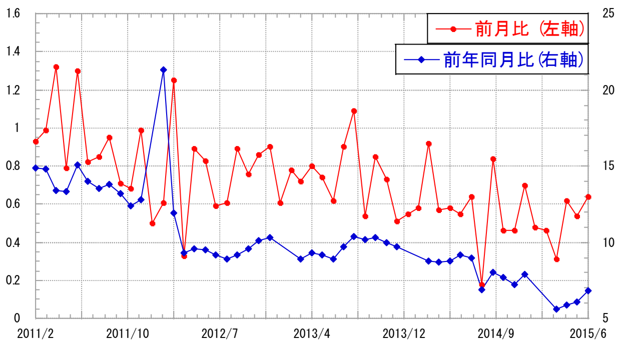
(出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（2）工業生産

6 月の工業生産は前月比+0.64%上昇し、前月から+0.1%ポイント加速した。前年同月比は+6.8%となり、伸びは前月より+0.7%ポイント上昇したが、昨年通年の伸び(+8.2%)を下回る状況が続いている。

産業別に見ると、有色金属圧延加工業(同+11.7%)、化学原料・化学製品製造業(同+9.5%)、ゴム・プラスチック製品製造業(同+9.4%)、パソコン・通信及びその他電子設備製造業(同+9.2%)等が高い伸びを示す一方で、電力・熱力生産・供給業(同+1.4%)、通用設備製造業(同+4.0%)、専用設備製造業(同+4.9%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2015 年 6 月まで：%)



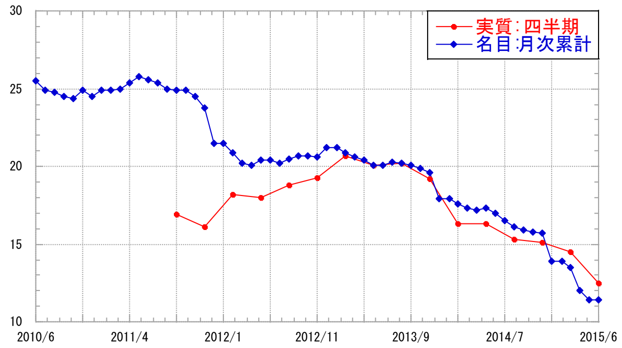
(出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（3）固定資産投資

1-6 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+11.4%と 1-5 月期（同+11.4%）から横ばい、2014 年 6 月をピークに減速トレンドにある。

産業別にみれば、第 1 次産業は同+27.8%(1-5 月期:+27.8%)、第 2 次産業は同+9.3%(1-5 月期:+9.6%)、第 3 次産業は同+12.4%(1-5 月期:+12.1%)となった。

固定資産投資 (2015 年 6 月まで : %) (累積伸び率)

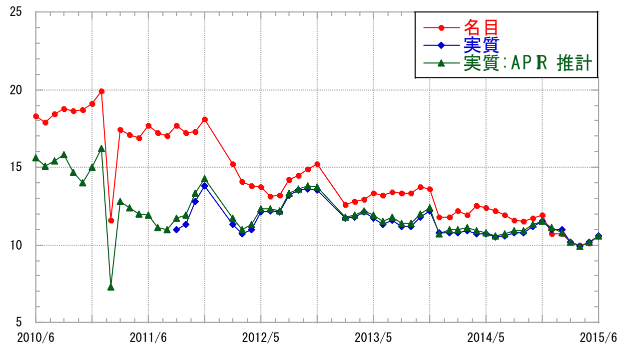


（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

（4）消費

6 月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.6%と前月(同+10.1%)より+0.5%ポイント幾分上昇した。2 カ月連続の上昇だが、昨年通年の伸び(+12.0%)を下回る状況が続いている。

社会消費品小売総額 (2015 年 6 月まで : %)



（注）APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

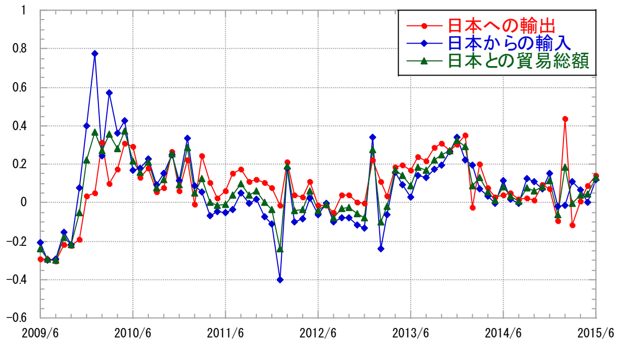
（5）貿易動向

6 月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+2.8%となり、４カ月ぶりにプラスに転じた。輸入額は同-6.3%(速報値)となり、前月(同-17.8%)より減少幅が縮小したが、8 カ月連続のマイナス。

うち、日本への輸出額は同-6.0%、4 カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同-7.6%となり、前月(同-15.6%)からマイナス幅は縮小したが、8 カ月連続のマイナス。

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+14.0%となり、3 カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同+12.1%となり、4 カ月連続のプラス。

日本との貿易 (前年同月比 : 円ベース) (2015 年 6 月まで : %)



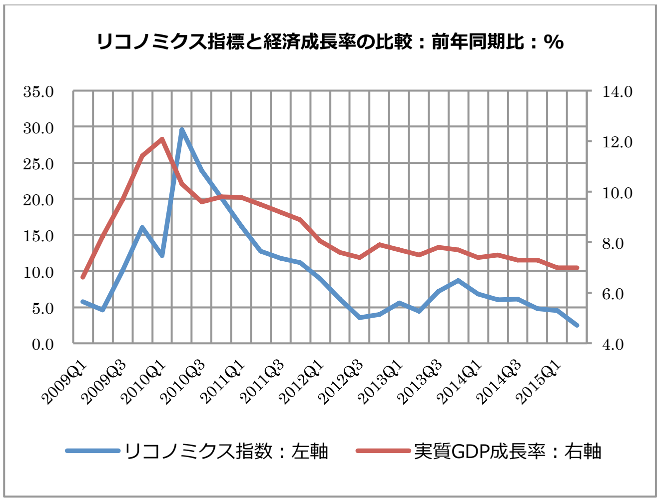
（出所）中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

（6）ＧＤＰとリコノミクス指数

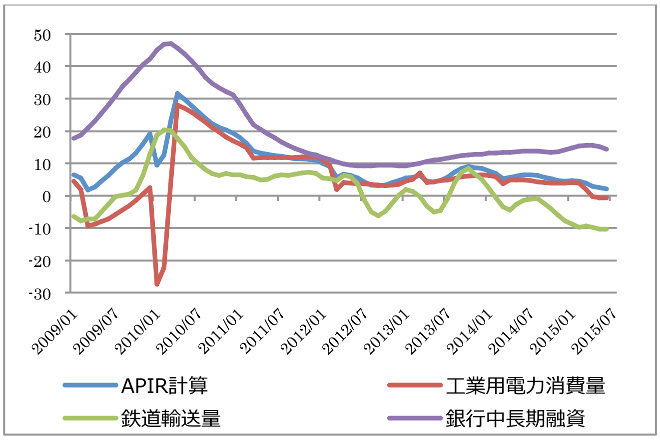
2015 年 4-6 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比+7.0%と、前期(同+7.0%)から横ばいとなった。しかし、景気の動向を良く示すと言われているリコノミクス指数(APIR 試算)は減速の傾向が読み取れる。2011Q1 から 2015Q2 までの標本期間で、リコノミクス指標と GDP 成長率の相関係数を見れば 0.93 と高い相関を示しており、このことから中国経済の実態については楽観を許さないと思われる。

具体的に APIR 試算したリコノミクス指数の内訳をみると、銀行中長期融資は幾分上昇傾向を維持しているが、工業用電力消費量は2015年4月からマイナスに、鉄道輸送量は2014年２月から 17 カ月連続のマイナスである。

APIR 試算のリコノミクス指数と実質 GDP 成長率の推移



APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳



（出所）中国国家統計局; CEIC データベース

Contact： 林万平・木下祐輔・James Brady

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	14/6M	14/7M	14/8M	14/9M	14/10M	14/11M	14/12M	15/1M	15/2M	15/3M	15/4M	15/5M	15/6M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	47.9	51.4	49.3	49.4	47.0	45.4	47.6	47.8	53.3	54.6	54.9	53.1	53.3
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	46.8	50.3	49.9	50.2	45.9	43.2	48.2	47.4	52.3	54.1	55.0	53.4	53.6
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	54.5	51.9	51.9	51.5	50.0	48.2	48.6	51.6	55.5	55.5	56.1	53.7	54.2
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	47.7	51.3	47.4	47.4	44.0	41.5	45.2	45.6	50.1	52.2	53.6	53.3	51.0
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	45.1	49.4	45.8	46.7	42.3	39.5	44.2	43.9	48.4	50.9	53.2	53.6	50.4
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	53.3	51.5	50.4	48.7	46.6	44.0	46.7	50.0	53.2	53.4	54.2	54.5	53.5
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.2	41.6	41.5	39.6	38.8	36.8	38.3	38.5	39.3	41.0	40.8	40.7	41.2
[関西]〃暮らし向き(原数値)	38.5	38.8	39.8	36.9	36.6	34.8	36.0	35.8	37.1	38.5	38.2	37.7	38.9
[関西]〃収入の増え方(原数値)	37.7	38.7	38.7	38.0	38.4	36.6	36.6	37.5	37.2	38.7	38.0	39.2	39.4
[関西]〃雇用環境(原数値)	48.4	48.4	47.7	45.7	43.7	41.4	44.2	43.7	45.2	47.1	47.5	46.3	46.8
[関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)	40.1	40.4	39.8	37.9	36.3	34.4	36.4	36.8	37.6	39.6	39.6	39.4	39.8
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	40.6	40.9	40.7	39.8	39.1	38.4	39.3	39.5	40.9	41.7	41.5	41.4	41.7
[関西]大型小売店販売額(10億円)	314.0	335.1	311.0	294.1	308.1	335.1	419.0	335.0	289.7	327.0	310.8	324.8	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-1.0	0.5	2.4	1.6	1.0	1.6	0.7	0.6	1.1	-13.4	10.5	6.9	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,631.7	1,717.4	1,626.3	1,531.3	1,606.5	1,728.6	2,155.4	1,722.7	1,498.6	1,715.0	1,608.0	1,692.2	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	-1.2	0.3	2.8	1.7	1.0	1.9	0.7	0.6	2.0	-12.3	9.5	6.2	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	12,018	10,038	12,764	11,707	10,816	12,192	11,625	9,605	9,002	10,832	9,823	10,416	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-1.6	-20.5	10.6	-14.0	-27.3	-12.5	-21.1	-15.0	-6.2	-3.0	-20.9	3.2	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	75,757	72,880	73,771	75,882	79,171	78,364	76,416	67,713	67,552	69,887	75,617	71,720	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	-9.5	-14.1	-12.5	-14.3	-12.3	-14.3	-14.7	-13.0	-3.1	0.7	0.4	5.8	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	73.4	73.6	71.8	78.4	73.4	81.6	75.6	79.3	69.9	70.4	73.6	70.5	71.3
[関西]マンション契約率(原数値)	76.4	77.1	71.7	76.9	74.1	80.9	73.0	70.9	67.1	72.7	74.2	75.2	74.2
[全国]マンション契約率(季節調整値)	73.9	83.5	71.9	71.5	65.2	79.0	70.3	69.5	74.5	75.2	74.5	72.1	75.4
[全国]マンション契約率(原数値)	76.6	83.7	69.6	71.6	63.3	78.4	71.0	74.9	74.5	79.6	75.5	71.1	78.7
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	188.3	164.5	116.7	148.5	#REF!	88.9	97.2	70.6	64.4	112.4	263.4	127.6	200.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	25.0	12.2	-2.0	-11.3	#REF!	-20.0	-13.7	-25.1	-18.3	-14.9	40.9	-26.5	6.4
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,585.5	1,627.3	1,127.6	1,398.4	1,316.1	843.7	894.4	670.8	712.2	1,275.5	1,836.1	1,129.4	1,556.4
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	14.3	3.5	-8.1	-8.2	#REF!	-10.4	1.0	-13.7	2.3	-12.4	4.4	-14.0	-1.8
[関西]建設工事(総合、10億円)	462.1	475.6	506.1	534.1	556.5	587.8	609.6	600.8	584.1	573.7	467.9	494.5	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	4.2	4.9	4.8	2.3	3.0	3.2	2.4	1.4	-0.2	1.0	5.8	3.8	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,634.4	3,738.2	4,030.9	4,333.2	4,522.6	4,714.6	4,834.6	4,611.0	4,510.3	4,520.2	3,632.1	3,549.4	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	2.8	0.5	1.2	0.3	-0.6	-1.4	-1.7	-1.3	-2.1	-0.7	3.4	3.3	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,410.8	1,485.5	1,703.7	1,933.3	2,098.8	2,247.4	2,344.3	2,188.1	2,127.4	2,140.9	1,445.8	1,383.9	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	9.4	6.3	8.7	6.7	5.1	3.5	3.7	3.6	0.2	0.8	4.9	6.4	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.5	103.4	98.9	104.1	106.0	101.2	102.1	110.5	105.9	106.5	102.1	100.6	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.6	0.9	-4.4	5.3	1.8	-4.5	0.9	8.2	-4.2	0.6	-4.1	-1.5	UN
[関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	3.6	-0.6	-3.7	6.6	5.2	-4.0	0.7	1.8	-0.7	0.3	-0.6	-5.1	UN
[関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	5.3	5.6	6.8	5.6	3.3	4.5	1.5	0.8	2.2	2.8	1.9	0.1	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	102.9	101.6	99.2	106.5	105.3	100.7	101.3	109.0	103.6	102.9	100.7	98.5	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	0.1	-1.3	-2.4	7.4	1.3	-4.4	0.6	7.6	-5.0	-0.7	-2.1	-2.2	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	117.6	120.4	119.8	120.0	117.0	117.1	116.4	116.2	117.4	116.5	116.7	116.7	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	0.1	2.4	-0.5	0.2	-1.2	0.1	-0.6	-0.2	1.0	-0.8	0.2	0.0	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.6	97.5	96.7	98.1	98.5	97.9	98.1	102.1	98.9	98.1	99.3	97.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.9	-0.1	-0.8	1.4	0.4	-0.6	0.2	4.1	-3.1	-0.8	1.2	-2.1	UN
[全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	1.9	-0.5	-4.1	1.7	-0.6	-4.8	-0.1	-2.1	-2.9	-2.3	0.2	-3.2	UN
[全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	3.1	3.1	4.7	4.1	3.9	6.6	6.2	5.6	7.0	6.2	6.6	3.9	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	95.2	96.9	94.9	97.9	98.0	97.3	97.1	102.4	97.9	97.3	97.9	96.0	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.9	0.5	-2.1	3.2	0.1	-0.7	-0.2	5.5	-4.4	-0.6	0.6	-1.9	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	110.6	110.7	111.7	111.3	111.2	112.4	112.3	111.8	113.0	113.4	113.8	112.9	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	1.3	0.5	0.9	-0.4	-0.1	1.1	-0.1	-0.4	1.1	0.4	0.4	-0.8	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	2.4	2.2	0.2	0.6	1.3	2.0	2.4	0.8	0.5	0.0	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	2.3	2.2	0.1	0.5	1.1	1.8	2.6	0.6	0.3	0.2	-0.9	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	0.6	1.9	0.6	0.4	-0.1	-0.2	0.9	0.6	0.1	0.0	0.7	0.7	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.4	4.6	4.0	4.2	4.1	3.8	3.7	4.0	3.8	3.3	3.5	3.8	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.2	4.7	4.0	4.1	4.3	3.6	3.4	4.2	4.0	3.6	3.5	3.7	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.60	1.57	1.57	1.58	1.60	1.60	1.68	1.72	1.58	1.69	1.71	1.69	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.65	1.66	1.65	1.68	1.69	1.69	1.77	1.77	1.63	1.72	1.77	1.78	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.02	1.03	1.03	1.02	1.02	1.04	1.06	1.06	1.06	1.06	1.08	1.10	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-23.6	-63.1	43.5	-67.2	2.3	-22.2	50.2	-76.0	-37.6	201.1	114.9	108.8	UN
[関西]輸出(10億円)	1,288.8	1,310.8	1,273.6	1,348.5	1,425.2	1,322.6	1,500.7	1,304.8	1,242.4	1,459.2	1,382.7	1,264.3	UN
[関西]輸出(前年同月比%)	1.5	5.5	1.3	7.5	10.9	6.5	14.7	20.0	2.5	7.9	5.3	2.7	UN
[関西]輸入(10億円)	1,312.4	1,373.9	1,230.1	1,415.7	1,422.8	1,344.8	1,450.5	1,380.8	1,280.0	1,258.1	1,267.8	1,155.5	UN
[関西]輸入(前年同月比%)	14.0	0.6	-1.6	9.9	1.8	-0.3	4.7	-10.9	10.2	-14.1	-4.2	-8.2	UN

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
29-Jun 全国鉱工業生産指数 (5月:速報値)	30-Jun 毎月勤労統計 (5月:速報値) 新設住宅着工(5月)	1-Jul 中国製造業 PMI (6月)	2-Jul	3-Jul
6-Jul	7-Jul	8-Jul 景気ウォッチャー調査 (6月) 近畿鉱工業生産指数 (5月速報)	9-Jul	10-Jul 消費動向調査(6月) 近畿貿易統計 (5月確速)
13-Jul 全国鉱工業生産指数 (5月:確報値) 中国輸出入 (6月: 速報値)	14-Jul マンション契約率 (6月)	15-Jul 公共工事前払保証額 統計(6月) 中国工業生産(6月) 中国固定資産投資 (6月) 中国消費小売総額 (6月) 4-6月期中国 GDP	16-Jul	17-Jul 毎月勤労統計 (5月:確報値) 建設総合統計(5月)
20-Jul	21-Jul 4-6月期中国 求人倍率	22-Jul	23-Jul 全国貿易統計 (6月:速報) 近畿貿易統計 (6月速報)	24-Jul
27-Jul 近畿鉱工業生産指数 (5月確報)	28-Jul	29-Jul 商業動態調査 (6月:速報値)	30-Jul 全国貿易統計 (6月:確速) 全国鉱工業生産指数 (6月:速報値)	31-Jul 求人倍率(6月) 完全失業率(6月) 新設住宅着工(6月)